

おおふなと・キッズ・コレクション2019

華麗な服装で会場を魅了

12月8日、リアスホールで、おおふなと・キッズ・コレクション2019が開かれました。

市民文化会館自主事業実行委員会が運営し、8回目となる今回は、市内の小学生12人がモデルとして参加。

キッズモデルたちは、こだわりのコーディネートで、堂々としたウオーキングとポージングで披露し、観覧者を魅了しました。



ドローン操縦体験教室

ドローン飛行に歓喜の声

12月21日、三陸公民館で、ドローン操縦体験教室が開かれました。

体験教室では、(一社)東日本ドローン協会講師の指導のもと、タブレット端末を用いた飛行プログラムの作成と操縦体験を実施。

参加した小学生は、最新のプログラム技術に興味を示すとともに、初めて操縦するドローンの動きを楽しそうに追いかけていました。



(7) 令和2年1月8日号(No. 1166)

三陸鉄道洋風こたつ列車出発式

こたつで楽しむ鉄道の旅



12月14日、盛駅で、三陸鉄道洋風こたつ列車出発式が行われました。

出発式では、こたつが設置された特別車両に、「洋風こたつ列車」のヘッドマークを取り付け、盛駅長の合図とともに釜石駅へ出発しました。

この企画列車は、1月26日までの毎週土・日曜日および祝日に運行します。予約が必要となりますので、詳しくは盛駅に問い合わせください。

漁火イルミネーション点灯式

街を彩る幻想的な明かり



12月21日、おおふなぼーとで、漁火イルミネーション点灯式が行われました。このイベントは、LOVE大船渡プロジェクト実行委員会が、漁具の「浮き玉」などを活用した明かりで地域活性化を図ろうと企画。会場では、ハート型や魚の絵などを明かりで描き、訪れた人の目を楽しませました。

イルミネーションは、市内7カ所の会場で1月5日まで行われ、幻想的な輝きで街を彩りました。

トピックス 1

認知症まるごと座談会

12月14日、カメラホールで、認知症まるごと座談会を開催しました。

講演では、気仙中央薬局薬剤師の金野良則さんが、認知症の人の服薬の注意点などを説明。気仙苑作業療法士の戸羽真広さんは、認知症予防の運動を参加者と実践しました。また、田ノ頭オレンジカフェ代表の熊谷君子さんは、地域で行う「認知症カフェ」の活動を紹介し、参加を呼び掛けました。

講演後は、講師たちによる「認知症とともに生きるコツ」についての座談会が行われ、参加者は認知症について理解を深めました。



①3人の講師の講演を聴講しました
②出張認知症カフェを開催し、お茶を飲みながら楽しく語り合いました



トピックス 2

つばきまつりイベント

12月15日、世界の椿館・碁石で、つばきまつりイベントが開催されました。このイベントは、1月19日から開催される「三陸・大船渡第23回つばきまつり」まで1カ月となる時期に、館内で咲き始めた椿を楽しむとともに、一足早くイベントを体験してもらうため、つばきまつり実行委員会が企画。

会場では、椿油の搾油体験や、その椿油を使ったハンドマッサージ、椿ゆべしづくりなどを行い、本番さながらの盛り上がりを見せました。

つばきまつりの詳細については、4～5ページをご覧ください。



①体験コーナーはたくさんの子どもたちでにぎわいました
②館内の椿はまつり期間中が見ごろとなります

トピックス 3

飲酒運転撲滅街頭活動

12月13日、キャッセン・大船渡ショッピングセンターで、飲酒運転撲滅を図る街頭活動を行いました。

「冬の交通事故防止県民運動」(12月13日～22日)の一環として行われたこの活動は、大船渡警察署や交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊など約30人が参加。参加者は、買い物客などに啓発チラシなどを配布するとともに、飲酒運転を絶対にしないよう声掛けを行いました。

飲酒運転をしないことはもちろん、前日のお酒を飲んだ時間にも気を付けるなど、飲酒運転の根絶にご協力をお願いします。



①飲食店を訪れた人たちに交通安全を呼び掛けました
②大船渡警察署員が飲酒運転撲滅への協力を求めました

(6)